風早北部防犯情報 しょうなん
SHOW "No Action No-result"

風早北部ふるさと協議会
防犯防災部 作成
2024年12月3日
第165号

本紙面は３頁です

冬場の乾燥の時期は火災発生に警戒を

防火特集「火の用心」

これから数カ月、首都圏は乾燥する日が例年多くなり、火災発生の危険度が一層高まります。今回は本紙面にて、我が国での最近の火災発生状況並びに防火対策（１０のポイント）につきご案内します。内容をご一読のうえ、これからの火災予防やその行動にお役立てください。

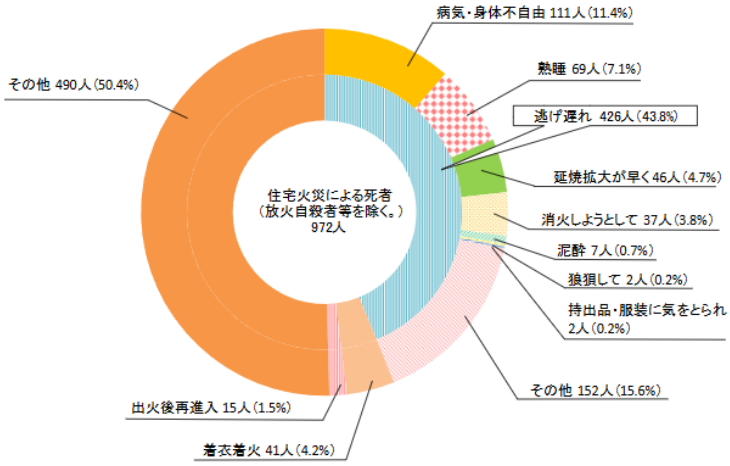
以下の内容は「消防庁の取材協力による政府広報オンライン」2024 年２月１５日付を基に記載しました。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

毎年火災が原因で約 900 人の犠牲者を毎年数えており、そのおよそ半数が「逃げ遅れ」によるものです。また、亡くなったかたの約 75%を 65 歳以上の高齢者が占めています。住宅火災の発生や逃げ遅れを防ぎ、いのちを守るために、日頃から取り組むべき「住宅防火いのちを守る 10 のポイント」を今回以降のシリーズでご紹介します（掲載図説は全て消防庁提供）。

火災発生の現状認識

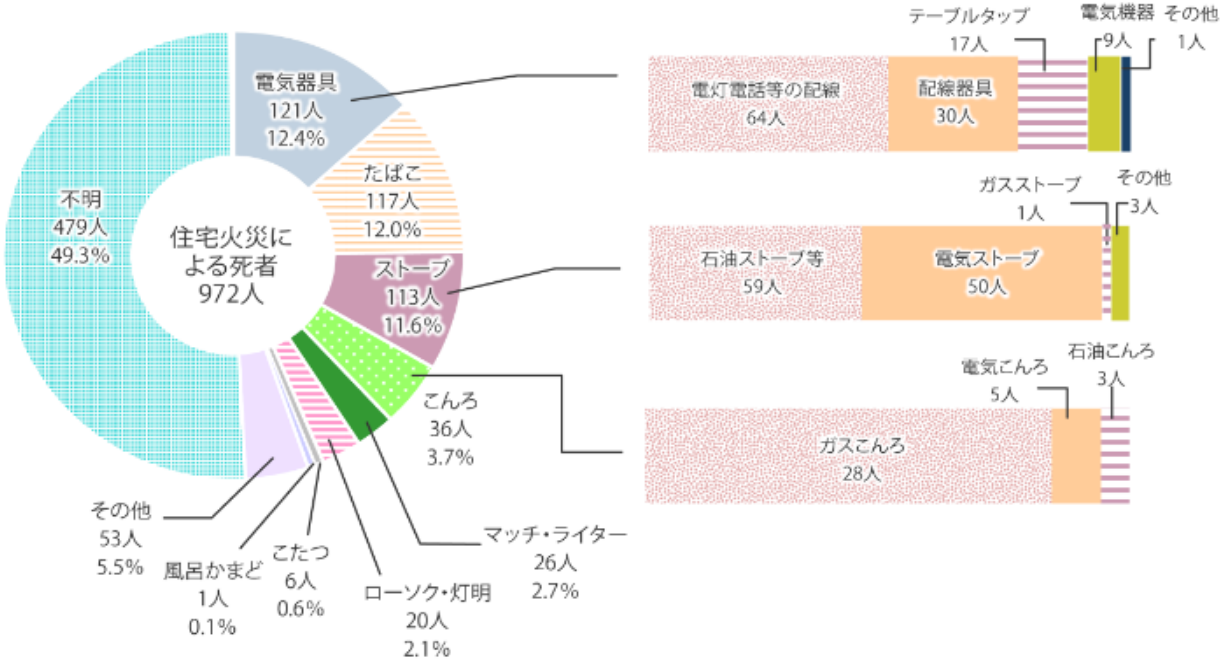
住宅火災によって亡くなったかたは 2005 年に 1,220 人を記録して以降、減少傾向にありましたが、2021 年と 2022 年は増加傾向にあり、約 1,000 人が犠牲となりました。2022 年に起きた住宅火災（住宅で起きた火災）の件数は 1 万 1,411 件で亡くなった人は 972 人です（放火自殺者等を除く）。そのうち約 75%にあたる 731 人が 65 歳以上の高齢者です。また、住宅火災で亡くなった理由をみると、病気や身体が不自由なために逃げ遅れたり、熟睡していたために逃げ遅れたりするなど、「逃げ遅れ」が全体の約半数を占めています。



←グラフは 2022 年中の住宅火災経過別死者割合

また、住宅火災の死者数を発火源別にみると、「電気器具」「たばこ」「ストーブ」「こんろ」が主な原因となっています。コンセントに溜まったほこりや、たこ足配線などが原因で出火し、近くに置かれた布製品などに移って燃え広がることによって起こっています。

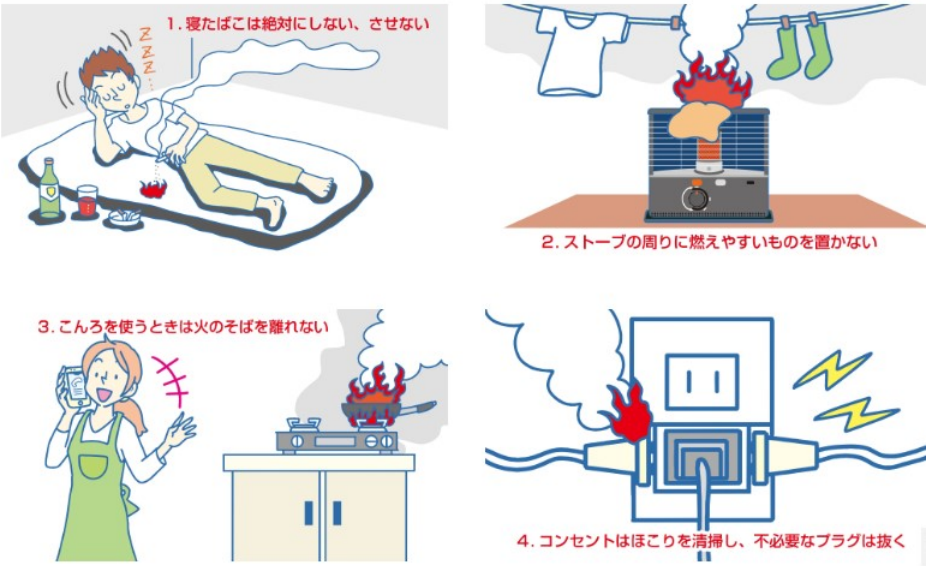
↓グラフは 2022 年中の住宅火災の発火源別死者数



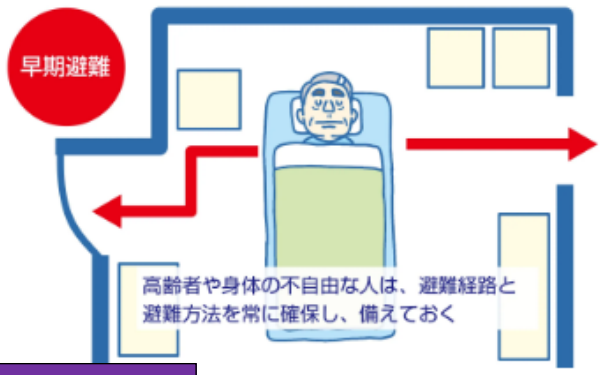
(備考)「火災報告」により作成

住宅防火いのちを守る 10 のポイント

火災の発生を防ぐために次の **4 つの習慣**を守りましょう。



万一火災が発生しても被害を抑え人命を守るため、日ごろから次の 6 つの対策をとりましょう。



番外ポイント

法外な値段で消火器や防火設備･備品を販売する悪徳商法に注意しましょう
無料で点検します、の甘い言葉にも警戒してください